

様式 2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 鳥取県立鳥取商業高等学校

重点項目	社会人等資質育成	提出日	令和 5 年 4 月 13 日
------	----------	-----	-----------------

1 学校目標	
地域の産業経済界をリードし活躍する人材の育成	
2 重点項目に係る目標・成果	
目標	成果
(1) 鳥商生としての自覚と誇りを持ち、自ら考え、判断し、行動できる力をつける (2) 望ましい職業観・勤労観を身につけ、進路実現に向けて努力する (3) 健康に留意し、学力向上と部活動に励む <数値目標> (1) 就職内定率、進学合格率ともに100% (2) 「学校行事に積極的に参加し、集団に貢献している生徒」及び「正しい身だしなみを実践し、自ら進んで挨拶をする生徒」が、それぞれ90%以上	<数値結果> (1) 就職内定率、進学合格率ともに100%を達成 (2) 「学校行事に積極的に参加し、集団に貢献している生徒」及び「正しい身だしなみを実践し、自ら進んで挨拶をする生徒」が、それぞれ90%以上を達成
3 実施事業	
【独自事業】 1 1年ビジネス基礎研修 2 小論文指導対策（自己表現学習プログラム） 3 2年研修旅行	
4 総合所見（成果・評価）	
数値目標（1）については、本校に課せられた使命である。コロナ禍にもかかわらず、多くの求人をいただき就職内定率100%を達成できたことは、地域の産業経済界における本校への期待の表れである。本年度も就職試験開始2か月後の全員内定は令和2年度に続き本校史上最速であった。 数値目標（2）については、「学校行事に積極的に参加し、集団に貢献している生徒」92.7%、「正しい身だしなみ実践し、自ら進んで挨拶をする生徒」84.0%で、学校生活における積極性、ビジネスマナーの実践をしている生徒が多い結果となっている。 実施事業の1「ビジネス基礎研修」は、入学して間もない新入生に対し、ビジネス教育の基本であるマナーの意識づけをする機会となった。ここで体得したものが日々の学校生活でも実践されている様子がうかがえる。 2の小論文指導対策（自己表現学習プログラム）では、3年生の進学希望者を対象にひとり一人に担当職員を割り当て、個別に指導を行い自分の言葉で表現する力を育成していくことができた。また、2月のスピーチ月間では、本年度より「学校の紹介」や「鳥商デパート」など、いくつかのテーマの中から選択して、自分で内容を調べ、話す内容を組み立てていく形に変更した。昨年度までは自由な内容でスピーチをさせていたが、進路対策のひとつとして実施することで、進路意識の高揚につなげることができた。 3の研修旅行は3年ぶりに東京で実施することができた。東証一部上場企業や各種上級学校で研修する2年生の進路指導の要であるが、依然として続くコロナ禍のため、受け入れ人数の制限もあり、希望する企業での研修をすることはできなかったが、受け入れが可能な企業・上級学校で研修を行い、進路意識を高めることができた。 コロナ前の日常が戻つつある中で、「地域の産業経済界をリードし活躍する人材育成」をさらに進めるため、教職員でベクトルを合わせ、レベルアップを図っていきたい。	

※枚数任意